

令和7年度  
学校だより

第2号

# ふぞくの風

鹿児島大学教育学部附属小学校



令和7年5月29日 発行

## 尊敬できる自分に

～「私はよくないことをしている後ろめたさを感じて生きたくない」～

校長 橋元 忠史

ある保護者から聞いた話です。雨の日に自分の娘に「車で(学校まで)送ろうか?」と声掛けしたら、そっけなく断られたとのこと。娘は、けがをしたから電車での通学が難しいとかの正当な理由がなければ、ちゃんと公共交通機関を使って登下校するのが附属小(に入学する際)の約束だということ。そして、こそこそ、よくないことをしているという後ろめたさを感じるのは嫌だといったことを毅然と話し、電停に向かったということです。

その保護者は自分の安易な親心を子供の言葉から気付かされたと照れた表情で話してくれました。ばれなければ、誰にも迷惑をかけなければ……。自分(の子)くらいいきまわりを破ってもいいじゃないかという親としての未熟さに気付かされ、自分の言動を見直すきっかけになったとのこと。まさに、「成長主義へのギアチェンジ」がなされた瞬間だと目からうろこでした。成果主義でいくと、「遅れたらかわいそう」とか「雨にぬれたり、長い時間かけたりの登校はいやだろうな」とか楽しさや効率化を重視してしまうところを「きつい、つらいこそ成長の原動力」と捉え直せたということでしょうか。

「かわいい子には旅をさせよ」という言葉がありますが、違う表現で「親の甘茶(あまちゃ)が毒となる」という言葉もあります。今は子供に厳しく接すること自体が難しい時代。でもそれは子供から成長の機会を奪っていると考えるとどうでしょうか。この保護者は社会常識からの気付きではなく、当のお子さんの指摘からの気付きだったところが凄いです。きっとだからこそ、ギアチェンジにつながったのかと思います。

そして何よりもこのお子さんからは、誰かが見ているからとか親が言うからとかではない自分の中に「ものさし」がすでに備わっているなあと嬉しくなりました。人がどうこうではなく、「尊敬できる自分」ならどう選択するかを自分に問う。これぞ、「附属魂」だよなと教えられた気がします。



## まさに縁の下の力もち ～ちからの会学校公開(授業公開)前美化作業

5月11日(日)、ちからの会学校公開(授業公開)前美化作業が行われました。保護者と教職員を合わせて221名が参加し、校舎内外の各箇所に分かれて一斉に作業を行いました。

参加された保護者の方々は、普段、子どもが手入れや作業ができない樹木の剪定や側溝の清掃、エアコン・換気扇のフィルターの取付作業など、学校を支えるサポーターとして、それぞれの担当場所を時間いっぱい作業してくださいました。翌日の月曜日には、整備された校内でのびのびと学習や運動、遊びに励む子どもたちの姿が見られました。



【はじまりの会の様子】

このように、本校の教育活動を支えてくださる方々がいらっしゃることは、大変ありがたいことだと感じています。「ちからの会」の皆様、休日にも関わらずご協力頂きましてありがとうございました。

※ 学校公開前日には、保健厚生部の方々による前日清掃、当日は、執行部・研修部・広報部・安全部の方々にも運営のお手伝いをいただきました。ありがとうございました。

## 教職の魅力発信！ 学校公開(授業公開)

附属小学校は、「教職の魅力発信基地」&「授業創造の学び場」を掲げ、地域貢献と研修観の転換を意識しながら学校の在り方改革を展開しています。その一環として、学校公開の行い方も検討しました。5月16日(金)に開催されました学校公開(授業公開)では、若手の教員や教職を目指す学生、自らの教職観更新を目指す方々など、608名の方々が来校され、授業参観を基にした語り合いや日々の教育活動について自由に協議する活動などが展開されました。

授業後には、「授業づくりラボ」「教科等デザインラボ」「学年アプローチラボ」「テーマ別トークタイム」の4つの特色あるコマにおいて、参加者が興味のある分野に分かれて、対話や交流ができるようにしました。下は、参加者の感想です。

子どものことを考えて授業づくりや学級経営を行うことで、子どもの学びや成長を促すことができ、それを身近で見て感じることができることが魅力だと考えた。目の前の仕事で精一杯の毎日だけれど、少しでも子どもが楽しく学び、学校生活を送ることができるように頑張っていきたいと思った。そのためはいろいろな先生方との交流がとても大切だと感じた。(現職1年目)



【教職について語り合う現職と学生の様子】

普段の学生生活では絶対に聞くことのできない現場の声を、担任の先生・養護教諭・スクールカウンセラーなど、それぞれの立場の視点で意見を聞くことができ、非常に学びが多く、満足度の高い充実した時間になった。教員を目指す中で、実際に教員となったときに意識したいこと・志したいことを明確にできたと同時に、これから先の進路を考える上でも非常にありがたい機会となった。(大学生)

これからも夢や目標に向かって生き生きと学ぶ附属小学校の子どもたちの姿を通して、附属小学校の担う役割である「教職の魅力の発信」に努めていきたいと考えます。

### 【6月の主な行事】

3日(火)	水泳学習開始 集団下校訓練	15日(日)	日曜参観、引渡訓練
9日(月)	校内読書旬間(～20日) 学校体験実習	16日(月)	日曜参観振替休日
13日(金)	人権教室	18日(水)	附属中学校体験入学(6年生)
		19日(木)	交流給食
		23日(月)	親子ふれあい活動(1年生)
		25日(水)	親子ふれあい活動(5年生)

5月16日(金)の学校公開(授業公開)の様子が、KYT 鹿児島読売テレビ、MBC 南日本放送における夕方のニュースで放送されました。

右の二次元コードを読み取ると、ご視聴できます。

【KYT】



【MBC】

